



未来に責任

未来
責任

— 変わらぬ志 これからも！！ —

兵庫県議会議員

川西市・川辺郡選出

越田^{こしだ}けんじろう

活動レポート 2017.7

【兵庫県知事選挙】井戸敏三氏が5選を果たす

■投票率は35年ぶりの高水準？

7月2日に投開票が行われた兵庫県知事選挙では、現職の井戸敏三候補が944,544票を獲得し、5度目の当選を果たしました。

投票率は40.86%となり、参議院選挙と同時選挙であった前回は下回ったものの、単独選挙であった8年前の36.02%を上回りました。兵庫県知事選挙で投票率が40%を超えたのは、参議院選挙との同日選挙を除くと35年ぶりです。

一方で、今回の知事選挙では約6割の有権者が投票に行かなかった現実も真摯に受け止めなければなりません。私の所属会派「ひょうご県民連合」では、知事選挙前の6月議会において、選挙管理委員会に対し積極的な情報発信を求めました。また、ショッピングモール等に投票所を設置することを促進し、投票しやすい環境をつくることも重要です。今後も、投票率向上に向けた取り組みを求めています。

また、県知事選挙や県議会議員選挙は、国政選挙や基礎自治体（市・町）の選挙に比べ、投票率が低い傾向にあります。県政はそれだけ県民にとって遠い存在だと言えます。行政だけではなく議会としても、県民に県政を身近に感じていただく取り組みが必要です。

兵庫県知事選挙開票結果

	兵庫県	川西市	猪名川町
井戸敏三氏	944,544	24,564	5,455
勝谷誠彦氏	646,967	19,194	3,826
津川知久氏	148,961	4,482	809
中川暢三氏	102,919	3,509	688
投票率	40.86%	39.78%	42.60%

■兵庫県の今後の課題は？

8月1日より井戸知事の5期目の任期が始まります。選挙では多選の是非などが争点の一つになりましたが、現在の兵庫県の大きな課題は多岐にわたります。特に、全国で最も厳しい財政状況の中、少子化対策や人口流出対策はもちろん、人口減少を前提として、それぞれの自治体や地域における地域活性化を支援する必要があります。

しかし、これらの取り組みは、従来の行政運営の発想だけでは不十分です。多様な民意を代表する県議会が、住民の声に寄り添い、新しい発想を持ち込まなければならないのです。

私は、今後も地域を歩き皆さんの声に耳を傾けるとともに、具体的な政策を党派を超えて提案してまいります。